

OPINION

中部経済新聞

ナヒゲーター

電気自動車も見学しました。この電気自動車は1回の充電で、時速43km/hで195km/hまで走行することができたそうです。

もう一つ注目すべきは、グローバル企業である新東工業への訪問でした。幹部たちがウクライナ国旗で私たちウク

3月12日に、私たちはデンソーギャラリーを訪問し、日

本のトップ企業が授かった最初のデミング賞メダルの一つを目にしました。日本における全社的な品質管理に関する黎明(れいめい)期のもです。ここでは、デンソーが1949年に世に出した唯一の

日本への期待
世界各地から

87

ライナ自動車・モビリティ・クラスター(UAMC)代表団を迎えてくれたのですが、国旗は温かい歓迎と相互尊重を象徴していました。紹介プレゼンの後、私たちは同社の生産現場を見学し、各工程に unnecessary なものが見当たらない完璧さに感銘を受けました。この訪問では、生産現場での安全の確保のためのKYT(危険予知訓練)システムも実演されました。KYTのわかりやすい説明と実体験に感謝します。

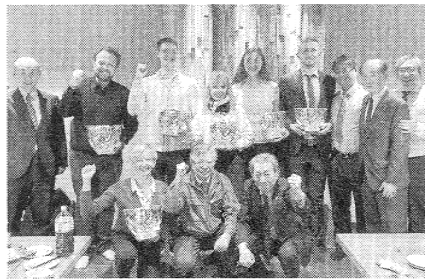
ルールを守ることの大切さ

有益な訪問 協働の基礎に

ウクライナ訪日団から(中)

や基礎訓練の重要性はリーム中産連から何度も紹介されました。前夜、団員の1人がレストランで置き忘れたパスポートが、翌朝出てきたときは感激しました。さらに、三菱電機の電子部品製造を見学する機会を得ましたが、これは、ウクライナで同様の製造に携わるメンバーにとって有益でした。

今回の日本訪問の最大の目的の一つは、グローバル・インダストリーによるスマート製造サミットでした。わが国のプースを設置し、企業や各



新東工業のクラブハウス(豊川市)で。前列左が筆者、中央が新東工業の永井淳社長

キング活動に参加しました。たとえば世界的な生産研修です。日欧協力による1日研修に参加し、リーン生産方式と生産管理の卓越性に関する理解を深めました。この業界の伝説的な講師の話聞き、交流する機会にも恵まれました。

翌週には、日本自動車工業会(JAMA)および日本自動車部品工業会(JAPPIA)と将来の協力関係に焦点を合わせた戦略的な意見交換を行いました。また、各種の表敬訪問をしています。駐日ウクライナ大使と会談し、国際協力機構(JICA)を訪問して共同プロジェクトについて話し合う機会もありました。JETROとの会談では、多くの洞察が得られ、ビジネス関係をさらに発展させる機会が得られました。

このように、訪問は日本の潜在的なビジネスパートナーとの対面による会議で締めくくられ、将来の協働関係の土台が築かれたと信じます。

【オルガ・トロフィモヴァ、リーム中産連】
(月曜日に掲載)